

株式会社船井財産コンサルティング高松

TEL:087-834-0122 FAX:087-862-0988 URL:http://www.digitalbank.co.jp/funai/index.htm

自分が加入している保険の内容がわからない、保険料の負担が大きいなど、保険に関わる悩みをお持ちの方は多いのではないのでしょうか？保険でいざという時の保障が得られるだけでなく、節税に使いえたり、貯金がわりにすることができますが、うまく活用できている方は多くないのではないのでしょうか？そこで今回、次回とで保険の見直しについて述べたいと思います。

今回は法人偏。当社でコンサルティングをした案件を例として説明していきます。

**(相談者)優良法人A社 社長<56歳>**

- ・ A社は業績好調で当面の節税ニーズがあった
- ・ また、社長は65歳くらいを目途に子供に経営を譲り、自分は退職したいという意向があった

そこで当社は両者のニーズを満たす、生命保険の活用を提案しました。しかし、社長によれば生命保険には既に入っているとのことです。3年前に某保険代理店から提案を受け、節税と退職金の原資づくりのための生命保険に加入したいのです。A社の業績は3年前よりさらに向上しているため、より一層の節税が必要とのことでした。まずは現状確認のため、加入している保険契約の確認をしてみました。

A社が加入していた生命保険は次のような契約です。

**(保険種類)逓増定期保険<全額損金タイプ>**

(契約者)A社  
(被保険者)社長<契約年齢:53歳>  
(保険金額)1億円 (払込期間)(保険期間)18年  
(払込方法)年払 (年払保険料)約540万円

またこの保険の解約返戻金の推移表は下記の通りです。  
↓返戻率とは、払い込んだ保険料に対する解約返戻金の割合(解約返戻金÷払込保険料累計)です。

経過年数	年齢	払込保険料累計①	解約返戻金②	返戻率②÷①
1	54	5,395,400	2,389,000	44.3%
2	55	10,790,800	7,506,000	69.6%
3	56	16,186,200	12,376,000	76.5%
4	57	21,581,600	17,300,000	80.2%
5	58	26,977,000	22,286,000	82.6%
6	59	32,372,400	26,833,000	<b>82.9%</b>
7	60	37,767,800	30,588,000	81.0%
8	61	43,163,200	32,992,000	76.4%
9	62	48,558,600	33,142,000	68.3%
10	63	53,954,000	32,779,000	60.8%
11	64	59,349,400	31,649,000	53.3%
12	65	64,744,800	29,929,000	46.2%
13	66	70,140,200	27,540,000	39.3%
・・・15年目以降省略・・・				

この保険はA社社長のニーズに合った保険でしょうか？答えはNOです。退職金の原資づくりという目的に合っていないからです。法人で契約した保険を解約した場合、解約返戻金は益金として計上されますが、その益金に見合った損金がないと税金が課されるため、課税の繰延をしたにすぎません。退職金の原資と考えているならば11年目に保険料を支払い、その後解約して、解約返戻金を退職金に充てる必要があります。しかし、この時に解約してしまったら払った保険料の半分しかお金が戻ってきません。とってももったいないですね。

そこで当社はこれまでの保険契約を解約し、下記のような保険に掛け変えることを提案しました。

**(保険種類)逓増定期保険<全額損金タイプ>**

(契約者)A社  
(被保険者)社長<契約年齢:56歳>  
(保険金額)1億円 (払込期間)(保険期間)17年  
(払込方法)年払 (年払保険料)約900万円

経過年数	年齢	払込保険料累計①	解約返戻金②	返戻率②÷①
1	57	8,933,700	6,362,000	71.2%
2	58	17,867,400	14,455,000	80.9%
3	59	26,801,100	22,692,000	84.7%
4	60	35,734,800	31,101,000	87.0%
5	61	44,668,500	39,701,000	88.9%
6	62	53,602,200	48,499,000	90.5%
7	63	62,535,900	57,508,000	92.0%
8	64	71,469,600	66,759,000	93.4%
9	65	80,403,300	75,371,000	<b>93.7%</b>
10	66	89,337,000	82,072,000	91.9%
11	67	98,270,700	84,055,000	85.5%
・・・12年目以降省略・・・				

こちらの保険は最高の返戻率時あたりに退職時期が来るため、退職金の原資づくりという観点から優れています。また、毎年の保険料が360万円ほど多く、より多くの損金を計上することができ、さらなる節税効果も生みます。

以上のように保険に加入する際は、目的にあったものであるかが重要です。目的を明確にせず、ただ勧められるままに加入すると、費用だけの負担となり、経営を圧迫しかねません。保険料で経営が圧迫されている会社は保険の見直しをすることにより業績改善をすることもできます。実際私どもの提案で必要な保障は保ち、保険料が1/10以下になったお客様もいらっしゃいます。

少なくとも3~5年以上前の保険は、その当時に比べ商品性の優れたものが出ていますので見直す価値アリです。当社では20社以上の保険会社の中からお客様の目的に最適な商品を提案しております。また金融、税務の知識が豊富なコンサルタントが提案いたします。保険の見直しをお考えの方は是非当社へご相談ください。